

Title	慶應ビジネス・スクールにおけるケース在庫管理システムの開発 - パーソナル・コンピュータを中心として -
Sub Title	
Author	福井義幸(Fukui, Yoshiyuki) 伏見多美雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1981
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0166

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 福井義幸

主査 伏見多美雄 教授

副査 柳原一夫 助教授

所属ゼミナール 柳原一夫 研

小野桂之介 助教授

慶應ビジネススクールにおけるケース在庫管理システムの開発 パーソナルコンピュータを中心として

本研究は一口で言えば、経営管理と科学を一つとする共通する何かを握むための試みである。コンピュータが近年非常に低価格化、あるいは小型化して、企業内の部門の中にもめざましく浸透しはじめてきた。このような経営環境の下で経営管理と科学という一見異質な2つの分野の間の接点を実証研究を通して見出すことが出来れば将来の経営にとって少なからず貢献できるであろう。

本研究は、慶應ビジネススクールにおけるケース在庫管理システムを開発することによって、スポットを事務室の合理化、いわゆるオフィスオートメ化という問題に絞って取り組んだ。

オフィスオートメ化は、全体をマン&マシンシステムとして機能的に捉え、その機能を高め、生産性が向上する方向で実現されねばならない。あくまでも人間中心のシステム開発であるが故に、合理化の原則に従いながらも、ケースの円滑な供給と経済性の実現を目的とするだけでなく、操作が簡単で、事務作業が軽減され、快適性こそ重視されるよう注意した。より創造的な仕事へ解放されるようにとの観点から、ケースの在庫管理システムの問題点を探り、在庫スペースの問題や在庫状況が把握できない等の顕在化している課題を、パーソナルコンピュータを導入することによって、いかに解決するかを本研究では例示したつもりである。